

佐賀新聞

(日刊) (明治25年3月30日第三種郵便物認可)

2026年(令和8年)

4月9日 木曜日

字: 副島種臣

第49007号

観光特使の名刺

3月下旬、高知県に出かけた。頂き物のカツオのたたきが忘れられず、羽を伸ばした。出発前日、支社の同僚が「これ使ってください」と名刺1枚を差し出した。

「高知県観光特使 金丸弘美」とある。唐津市出身の食環境ジャーナリストの金丸さん取材し、もらったという。裏には高知県内の22の観光施設の名が並び、「各施設1回限り、5人まで無料」とある。県外者限定で有効期限はちょうど3月末。同僚は4月から本社勤務になり、引っ越し作業で見つけてくれた。

まつらノート



まず桂浜の坂本龍馬記念館で利用した。名刺を見せると「どこからですか」と尋ねられた。1カ所でもお得なのに、各施設を利用できる太っ腹な名刺で、高知城、動物園でも利用した。

高知県によると、観光特使は年々増え、現在500人。県庁各課が推薦し、審査して決めているという。名刺は年度初めに100枚ずつ配布し、使用期限は2年間。利用率は印刷枚数の10%程度といい、想像以上に使われている。

車とフェリーを乗り継ぎ、片道8時間余りと、遠い高知県。名刺1枚で、気持ちも懐具合も軽やかになった。

(唐津支社・宮崎勝)

高知県観光特使
金丸 弘美

私のイチオシ

地域のあるものすべての魅力を活かせ磨きつける。人材育成にも力を注ぎ、人・夢・コトを未来に繋ぐ高知県



高知県観光施設等無料入場券

高知県外在住の方のみ利用可能

各施設 1 回に限り 5 名まで入場可能

【注意】 同券の複合計上げ船につき 1 回 5 名までの利用に限る。(複数枚利用不可)

- | | |
|------------------|--------------|
| ① 高知城(懐徳館) | 088-824-5701 |
| ② 高知県立高知城歴史博物館 | 088-871-1600 |
| ③ 高知県立美術館 | 088-866-8000 |
| ④ 高知県立文学館 | 088-822-0231 |
| ⑤ 高知県立坂本龍馬記念館 | 088-841-0001 |
| ⑥ 高知県立牧野植物園 | 088-882-2601 |
| ⑦ 高知市立自由民権記念館 | 088-831-3336 |
| ⑧ 横山隆一記念まんが館 | 088-883-5029 |
| ⑨ 香美市立やなせたかし記念館 | 0887-59-2300 |
| ⑩ 高知県立のいち動物公園 | 0887-56-3500 |
| ⑪ 西島園芸団地 | 088-863-3167 |
| ⑫ 高知県立歴史民俗資料館 | 088-862-2211 |
| ⑬ 本山町立大原高校文学館 | 0887-76-2837 |
| ⑭ 絵金町立絵金山自然の森博物館 | 0889-26-1060 |

- | | |
|-------------------|--------------|
| ⑮ 海洋堂ホビー館四万十 | 0880-29-3355 |
| ⑯ 海のギャラリー | 0880-85-0137 |
| ⑰ 高知県立足摺海洋館 | 0880-85-0635 |
| ⑱ 四万十川学遊館あきつお | 0880-37-4110 |
| ⑲ 中岡慎太郎館 | 0887-38-8600 |
| ⑳ 北川村「モネの庭」マルモッタン | 0887-32-1233 |
| ㉑ 安芸市立歴史民俗資料館 | 0887-34-3706 |
| ㉒ 安芸市立書道美術館 | 0887-34-1613 |

有効期限 令和10年3月31日まで

※入場料の支払い、別途要。休館日は本館底を閉鎖していません。
※入場制限の適用、別途要。別途要の場合は別途要です。
※有効期限切れについて、取壊を中止する場合がございます。
※制度についてのお問い合わせ先
高知県観光振興スポーツ部観光政策課: 088-823-9609

「高知県観光特使名刺」のこと、「佐賀新聞」で掲載されました。

2026年7月30日、佐賀県唐津市へ行き、佐賀新聞社唐津支局へ寄ったところ記者の宮崎勝さんから「高知県観光特使名刺、使わせてもらいました。記事にしましたよ」と新聞をくださいました。同じ、記者で丸山美陽さんは、「私、有川ひろさんの『県庁おもてなし課』読みましたよ!」と喜んでいただきました。突然の訪問だったのですが気さくに迎えてくださり2時間も話し込んでしまいました。嬉しい時間となりました。改めて最新の観光特使名刺をお渡ししました。高知県観光特使になった経緯は連載中の食の雑誌「味の味」(アイディア)で書きました。ぜひ観てください。月刊「味の味」ホームページ <http://www.ajinoaji.com/>

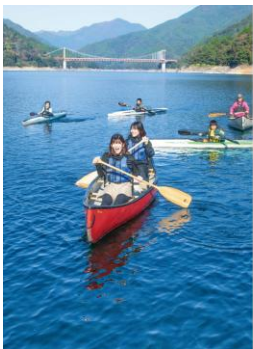


<https://x.gd/Pu8TI> (2022年10月号)



「県庁おもてなし課」有川ひろ著(角川書店)表紙 <https://x.gd/fJGsd>

- 高知県観光特使名刺は名刺の裏に記載された高知県内の美術館、博物館など22の施設で5名まで無料で入場できます。
- 名刺のことは有川ひろ氏の100万部のベストセラー小説「県庁おもてなし課」(角川書店)に登場。巻末座談会、有川ひろ氏、県庁職員、金丸弘美が収録されています。
- 「県庁おもてなし課」(現在、おもてなし室)は高知県庁に実在します。



どっぷりど級の
極上田舎へ



どっぷり高知旅
SUPER LOCAL KOCHI

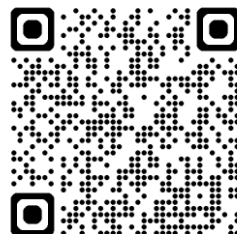


[どっぷり高知旅](https://doppuri.kochi-tabi.jp/) <https://doppuri.kochi-tabi.jp/>

- 名刺表のQRコードから高知県の見どころ ガイド『どっぷり高知旅』へ飛べます。NHK 朝ドラ主人公やなせたかしさん、牧野富太郎さんは高知出身。ゆかりの場所のガイドが出てきます。素敵なプレゼントもあります。

『田舎力〜ヒト・夢・カネが集まる5つの法則』

金丸弘美著(NHK出版生活人新書)



<https://x.gd/tl6pj>

上野千鶴子氏、小山薫堂氏推薦。好評15刷。有川ひろ氏の「県庁おもてなし課」の参考図書として使われました。「毎日新聞」社説他65媒体で紹介。小説のメインとなる馬路村農協が大々的に登場します。